

臨床研究等の情報公開

研究課題名	終末期の腎癌多発骨転移による難治性神経障害性疼痛にミダゾラムが奏効した一例
研究機関	青森市民病院 緩和ケアチーム
研究内容	腎癌の多発骨転移により骨髓炎を合併し、難治性の神経障害性疼痛を呈した終末期患者に対し、ミダゾラムを併用したところ、疼痛と不眠の改善を認めたため報告する。
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和9年3月31日
対象者	50歳代女性、X年に右腎部分切除術を施行、X+3年に多発骨転移を認め、脊髄の手術・放射線療法、化学療法が施行された。X+5年Y月入院中に下肢感覺麻痺が進行し、Y+1月に深部静脈血栓症を併発、Y+6月永眠された。
実施方法	相談記録や電子カルテの記事記録を参照し、医療チームとして経緯および介入を振り返る。
参加撤回の自由	患者が存命中に家族から同意を頂いた。患者は同意を得る前からせん妄状態であり、その後せん妄が回復することなく永眠されたので、代理による同意のみとなった。事例をまとめるに当たり、個人が特定される様な情報は利用せず公開も行わない。
問合せ先	青森市民病院 がん相談支援センター 一戸 真紀 青森県青森市勝田1丁目14番20号 Tel 017-734-2171 内線9222 がん相談支援センター